



HYUGA City Waterworks Vision

日向市水道ビジョン <概要版>

お客様に親しまれ 笑顔^{ひむか}を未来へつなぐ 日向の水道



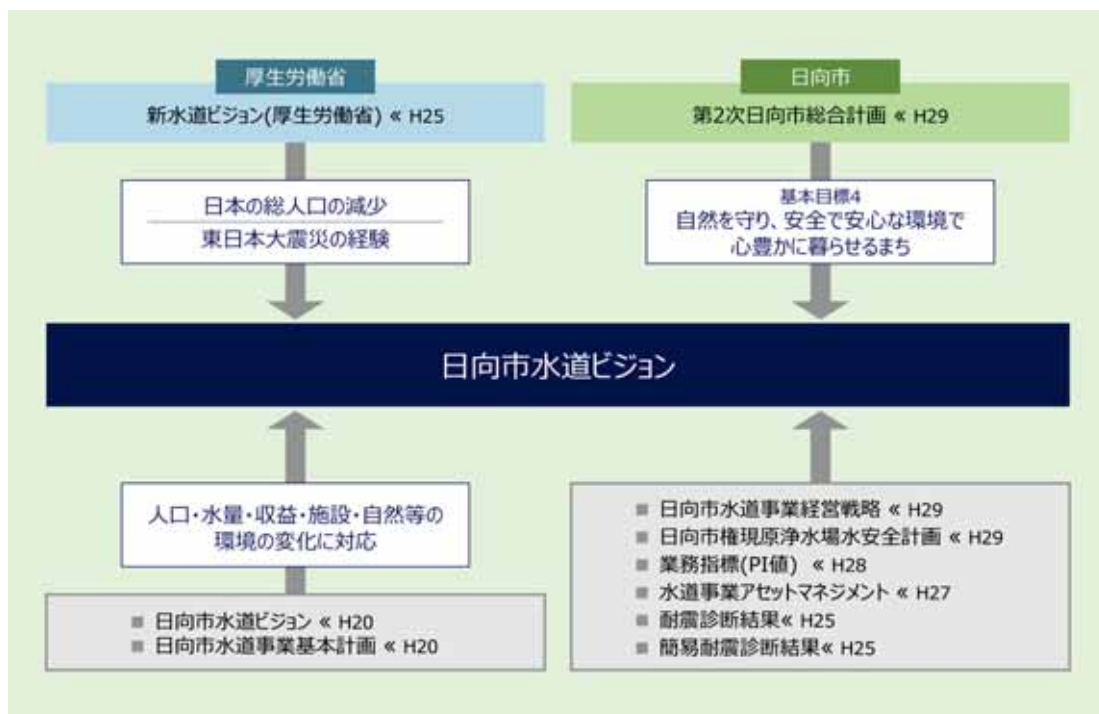
1.水道ビジョンについて

厚生労働省は、平成 16 年に水道に関する重点的な政策課題とその課題に対処するための具体的な施策及び方策、工程などを明示した「水道ビジョン」を公表しました。平成 20 年には、その水道ビジョンの内容を時点に見合った内容へと改訂しています。しかし、現在は、これらの水道ビジョンを作成した当時とは、水道をとりまく状況が大きく変化しています。新水道ビジョンは、これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵をこれからも享受できるように、50 年後、100 年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示しています。

日向市水道事業は、「水道ビジョン」をもとに、平成 20 年 3 月に「日向市水道ビジョン」を策定しました。しかし、この水道ビジョンの目標年度を迎え、水道をとりまく環境の変化に直面し、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」を経験した今、将来において日向市の水道を継続していくため、新たな課題に挑戦する必要があります。

これを受け、新たな課題の整理、それらを解決する具体的施策を検討し、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示するものとし、新たに「日向市水道ビジョン」を策定しました。

「日向市水道ビジョン」は、本市水道事業の戦略的なマスタープランに位置付けられており、様々な上位計画、個別計画、各種検討の成果を踏まえ、水道事業の現状評価・課題、将来の事業環境、水道の理想像と目標、推進する実現方策などを整理したものです。



2.水道事業の現状評価と課題

2.1 水道事業の現状

日向市水道事業は、昭和 25 年に給水を開始しました。昭和 43 年に権現原浄水場の運用が開始され、事業の統合、区域拡張により現在の形となりました。現在は、計画給水人口 56,900 人、計画一日最大給水量 30,690m³/日（平成 21 年・認可変更届出の認可値）にて経営を行っています。



本市の上水道（簡易水道含む。）の給水人口は、近年、減少傾向にあります。平成 28 年度の給水区域内人口は 60,194 人、給水人口は 59,528 人でした。

給水人口の減少にともない、給水量も減少傾向にあります。給水量が減少することは、料金収入の減収や水道施設の効率性が低下するなど、事業経営に大きな影響を与えます。

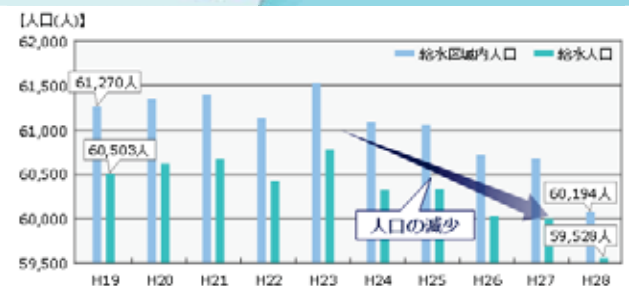


図 人口の実績

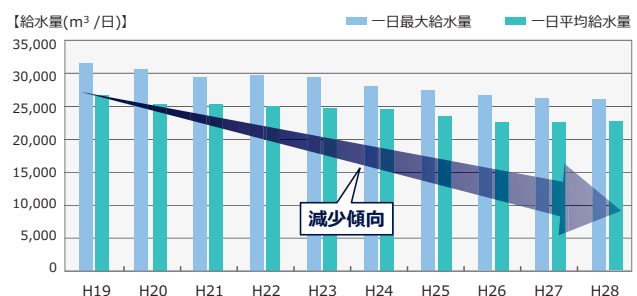


図 給水量の実績

2.2 課題の抽出

本ビジョンにおいて、水道の理想像の具現化、取り組むべき事項、方策を示すため、人口や給水量、水道施設、人材や組織、経営状況、災害対策などの面から現状評価を行い、「水道サービスの持続性（持続）」「安全な水の供給（安全）」「危機管理への対応（強靱）」について課題を抽出しました。

水道サービスの持続性は確保されているか(持続)	
課題	
給水人口 給水量	・人口の減少や節水意識の向上、節水型機器の普及による水需要(給水量)の減少
水道施設	・水道施設の老朽化 ・水需要の減少に伴う過大な施設能力
人材・組織	・技術を有する職員の減少
経営	・料金収入の減少 ・老朽化施設の更新、耐震化を進めるための財源の不足
安全な水の供給は保証されているか(安全)	
課題	
水源の水質	・水源の保全 ・水質管理の徹底
給水の水質	・鉛製給水管の解消 ・貯水槽水道の管理の強化・改善
危機管理への対応は徹底されているか(強靱)	
課題	
地震への備え	・水道施設の耐震性の確保 ・危機管理マニュアルの定期的な見直しの継続
被災時の対策	・応急給水の強化、周知



日向台配水池



中の原取水口

2.3 事業の見通し

今後、法定耐用年数を迎えた施設をこの耐用年数のとおりに更新する場合、施設の更新費用は、2054年までに約273億円必要となります。その内、最も多い割合を占めるのは配水管の更新費用であり、約133億円となります。

これらの施設を法定耐用年数のとおりに更新することは、財政への負担が増加するため、施設の統廃合や補修などによる延命化を視野に入れた計画的な更新を行う必要があります。

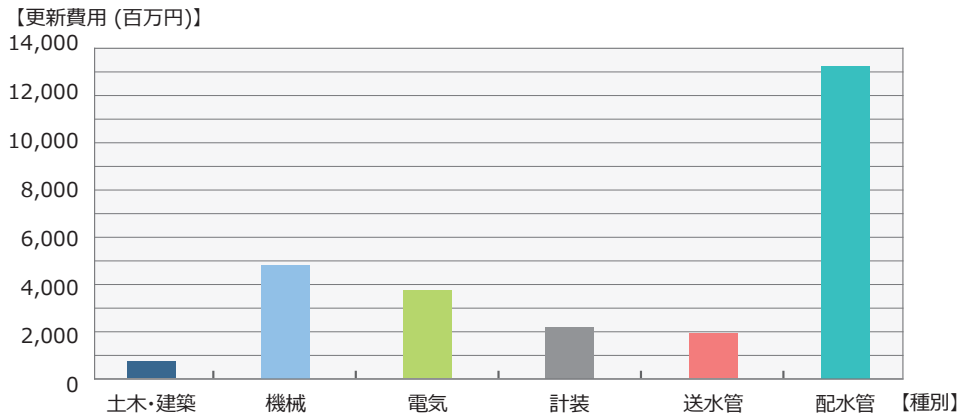


図 法定耐用年数で更新を行う場合の費用

更新需要や将来の給水収益を見込んだ場合の財政の見通しは、計画期間において黒字となりますが、給水量の減少により、徐々に収入が減少します。

また、資金残高は、増加する更新事業費に対応するため、毎年度多額の投資が必要となり、2026年には1.4億円まで減少します。

このため、現行の水道料金では、資金残高が減少し、事業経営に支障が生じることから、資金の確保を目的とした料金の改定を検討する必要があります。

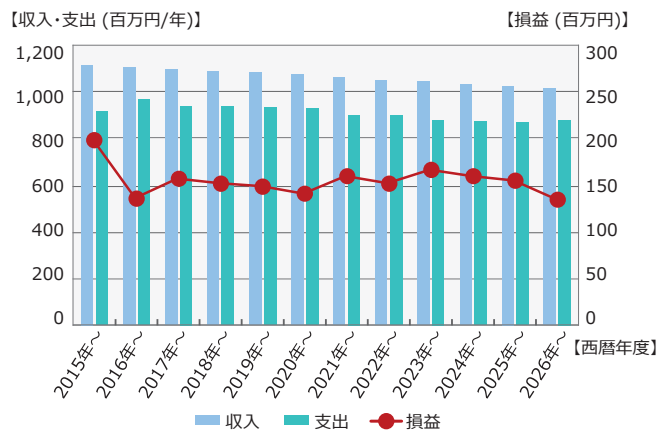


図 資本的収支の見通し

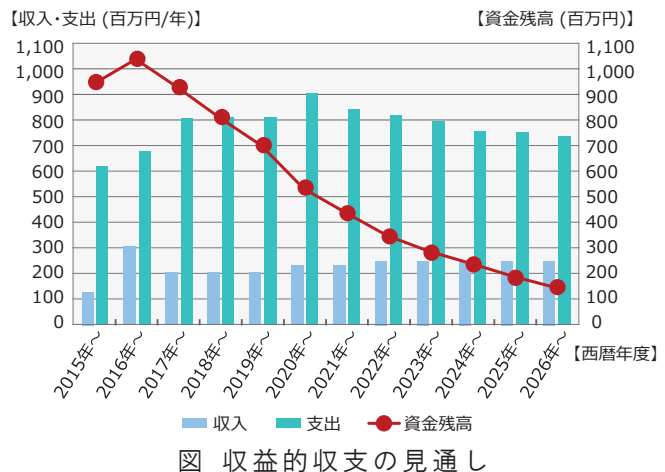


図 収益的収支の見通し

3.事業の方向性

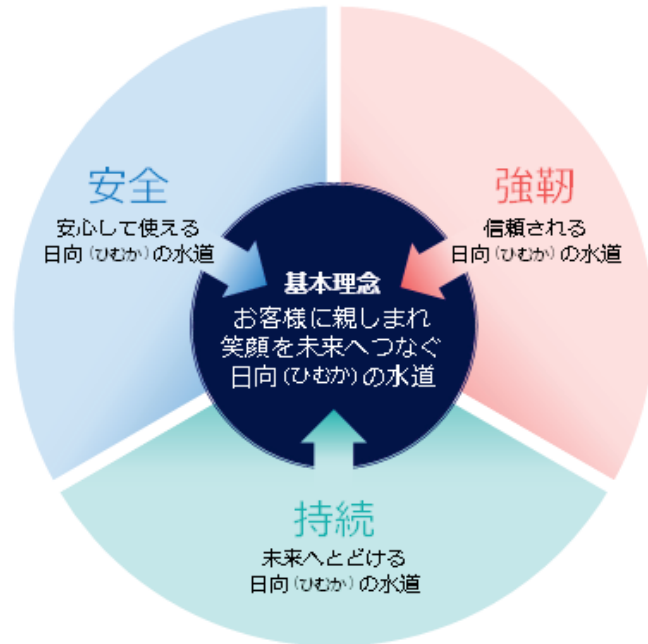
日向市の人口は減少傾向に転じており、料金収入の減収など適切な事業運営のための財源確保が課題となっています。また、東日本大震災や平成28年熊本地震などの経験から、水道施設の耐震化や災害への対策が急がれています。

そのため、日向市水道事業は、地域に密着し、お客様に信頼され、親しみを抱いていただけるような事業を目指すとともに、10年後、20年度、その先の将来にわたって、お客様に日向の水を安心してご利用いただけるよう「お客様に親しまれ 笑顔未来へつなぐ 日向（ひむか）の水道」を基本理念とし、その実現に向けて挑戦してまいります。

ひむか

お客様に親しまれ 笑顔未来へつなぐ 日向の水道

- | | |
|---|--|
| <p>安全 安心して使える日向（ひむか）の水道</p> <ul style="list-style-type: none"> I 水質管理の充実 II 給水水質の向上 III 広報活動の充実 | <p>強靱 信頼される日向（ひむか）の水道</p> <ul style="list-style-type: none"> I 災害に強い水道の構築 II 危機対応力の向上 |
|---|--|



- 持続** 未来へとどける日向（ひむか）の水道
- I 水道施設の適正化
 - II 経営の適正化
 - III 連携・協力体制の促進

4.実現方策

日向市水道ビジョンが掲げる基本理念をもとに、以下の施策に取り組みます。

基本理念

お客様に親しまれ 笑顔を未来へつなぐ 日向(ひむか)の水道

基本方針	基本目標	施策
安全 安心して使える 日向(ひむか)の水道	I 水質管理の充実	(1) 水質検査の精度管理の検討
		(2) 水安全計画の見直し
		(3) 適正な浄水施設の検討
	II 給水水質の向上	(1) 指定給水装置工事業者に対する指導
		(2) 貯水槽水道設置者に対する指導の徹底
		(3) 鉛製給水管の更新
	III 広報活動の充実	(1) さまざまな広報手段の活用
		(2) 見学会、出前講座の推進
	強靱 信頼される 日向(ひむか)の水道	I 災害に強い水道の構築
(2) 管路の更新・耐震化		
II 危機対応力の向上		(1) 緊急時対応マニュアルの見直し
		(2) 応急給水体制の強化
		(3) 対策訓練の実施
持続 未来へとどける 日向(ひむか)の水道	I 水道施設の適正化	(1) 水道未普及地区の解消
		(2) 施設規模の適正化
		(3) 施設台帳の精度向上
		(4) 施設の維持
		(5) 修繕計画の作成
	II 経営の適正化	(1) 窓口業務の外委託
		(2) 水道料金の見直し
		(3) 内部研修・外部研修への積極的参加
		(4) 簡易水道事業における公営企業会計の適用
	III 連携・協力体制の促進	(1) 災害等協力体制の充実
		(2) 宮崎県北部広域連携活動の継続



表紙の写真

右：耳川 左上：クルスの海 左下：日向市の花「ひまわり」

裏表紙の写真

右上：細島灯台 右下：坪谷水源 左：日向市の砂浜「サーフィンの様子」



日向市上下水道局

発行日 平成30年(2018年3月)

発行 日向市上下水道局

〒833-8555 日向市本町10番5号

TEL 0982-52-2111

E-mail suido@hyugacity.jp